

健康・生活

〈健康状態の把握〉

・視診や場合により検温を行い、ひとりひとりの健康状態を把握します。意思表示が難しいお子様の障がいの特性や発達の過程を考慮し、小さなサインから心身の変化に気づけるよう観察します。

〈健康の増進〉

・学校休業日、長期休暇は「体を休める」休息の時間を設け「体を休めるとは何か、それによりどうなるか」等、体を休める事の大切さを伝え、健康な体を育て、元気に安全に生活出来るようにします。

1人でゆっくり過ごしたり、音楽に触れたり、好きな絵本を見たり読んでもらうなど自分に合った気持ちの落ち着き方を見つけていきます。

〈基本的な生活スキルの獲得〉

・身の回りの事、着脱、排泄、身支度、身だしなみ、手洗いなど基本的な生活技能を獲得出来るよう動作の見本を示し繰り返し丁寧なやり方を伝えます。

・SSTのプログラムを利用し、綺麗、汚い、快、不快、かっこ良い、かっこ悪い等、振り返り、自分のことに意識が向くよう促します。また公共機関の利用やマナー、困った時の連絡方法等、実際の場合を想定した環境を作り経験します。

・月に一度、「衛生活動」「掃除」を取り入れ意識や、知識を深めていきます。

・調理療育を通し栄養に意識を向け食のありがたさを感じながら色々な食べ物に触れ、健康に生活出来るように促します。

・お集まりで季節や、天気、気温(体感)に触れ、環境に応じ衣服を調整出来るよう意識を向けていきます。

〈生活習慣や生活リズムの形成〉

・基本的な生活のリズムを身に付けられるよう自分で計画を立てたり、時間を決め行う活動から[時間]を意識出来るよう促します。

・時間や空間を本人に分かりやすく構造化し、見通しを持ち取り組めるよう工夫します。

言語・コミュニケーション

〈コミュニケーション能力の向上〉

・一人一人の能力や興味関心に合わせ、言葉だけでなくサインや表情、身振りなどの方法で表現し、伝え合う事の楽しさを味わう経験を重ね、コミュニケーションに必要な能力を身に付けられるように支援します。

〈人との関わりからコミュニケーション能力を獲得する〉

遊びや活動の中で、友だちに関心を向けたり、関心を向けられる場面を通じ、相手と共通の物に注意を向け、行動や思いを共有する事でコミュニケーション能力の向上を目指します。

〈状況に応じたコミュニケーション〉

やり取りを円滑に行うため関係を深め、その時の状況を的確に把握し、場面や状況に応じて考えたり、判断し行動に移せるよう支援します。

〈読み書き能力の向上〉

・一人一人の発達の状況や興味関心に合わせ、教材環境に配慮しながら読み書きの能力の向上を目指します。

・お子様に寄り添い穏やかに働きかけることで周囲の環境、自分そして人に対する安心感、信頼感を育てていきます。

・同じ場面を過ごし、気持ちを共有し認めてもらい「自分の居場所」として安定した気持ちで過ごせるよう、環境を整えます。

〈自己の理解と行動の調整〉

・様々な活動を通してできること苦手なことなど自分の行動の特徴を理解しその中から自己肯定感を育て気持ちのコントロールや状況に応じた行動がとれる支援を行います。

〈遊びを通じた人間関係・社会性の形成と促進・仲間づくりと集団への参加〉

・遊びや活動を通して手順やルールの理解を促し、友だちの気持ちに気が付き働きかけを受けとめることでお互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援します。

認知・行動

〈認知の特性の理解と対応〉

・一人一人の特性を把握し、こだわりや偏食などに対する支援を行います。

〈対象や周囲の状況の適切な認知と行動の習得〉

・新しい環境や活動に対して挑戦する意欲が育つようスモールステップで出来る事を増やし自信を育て自己肯定感を高める支援を行いません。

〈認知や行動の手がかりとなる知識、概念の形成〉

・物の形、色、音が変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間など知識や概念を育て、それを認知や行動の手がかりとして生かしていきます。

〈状況の変化の理解と適切な行動の習得〉

・視覚、聴覚、触覚などの感覚を十分に活用し周りの情報を吸収し知識につなげます。また、実際の道具を見たり使用したり、自分で調べることを身につけます。知りたい気持ちを大切に自分で体験することが出来るような環境をつくり、これらの情報を的確な判断や行動につなげられるよう支援し先の見通しを立て自主的に行動が出来るように促します。

運動・感覚

〈姿勢と運動・動作の基本的な技術の向上〉

・運動を通して力のコントロール、体軸の強さ、勝負時の感情のコントロールを身に付け、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や筋力の維持・強化を図ります。

・見本を見せたり直接介助する事で、感覚をつかんだり体の各部位に意識を向けていきます。

・製作活動などを通して出来上がった時の達成感など味わいながら指先を使った細かな作業を行います。手元をしっかりと見ながら、注視、集中力を高めていきます。

・チャレンジする気持ち、頑張る姿を沢山褒め意欲を高めます。

・多方面からの育成に配慮し、動作の基本能力、基本的技能の向上を目指します。

〈持っている感覚の活用〉

・上記のような活動を通し、見る、聴く、触れる、嗅ぐ、動く、揺れるといった感覚を育て日常生活の場面に生かせるよう支援します。

人間関係・社会性

〈愛着の形成と安定〉

・お子様に寄り添い穏やかに働きかけることで周囲の環境、自分そして人に対する安心感、信頼感を育てていきます。

・同じ場面を過ごし、気持ちを共有し認めてもらい「自分の居場所」として安定した気持ちで過ごせるよう、環境を整えます。

〈自己の理解と行動の調整〉

・様々な活動を通してできること苦手なことなど自分の行動の特徴を理解しその中から自己肯定感を育て気持ちのコントロールや状況に応じた行動がとれる支援を行います。

〈遊びを通じた人間関係・社会性の形成と促進・仲間づくりと集団への参加〉

・遊びや活動を通して手順やルールの理解を促し、友だちの気持ちに気が付き働きかけを受けとめることでお互いの存在を認め合いながら、仲間づくりにつながるよう支援します。



放課後デイサービス